



2024年度

石川県勤労者山岳連盟

# 第59回定期総会議案書

**目指す頂きへ、仲間と共に！**



**期 日:2024年3月3日(日)13時30分～16時00分**

**会 場:野々市市郷公民館**

〒921-8823

野々市市田尻町94番地

**石川県勤労者山岳連盟(IWAF)**

〒921-8817 石川県野々市市横宮町8-5 つばき通り百番ビル206号室

**アドレス** [info@iwaf.jp](mailto:info@iwaf.jp)

<http://iwaf.jp>

# 会場のご案内

## 【会場】

野々市市郷公民館

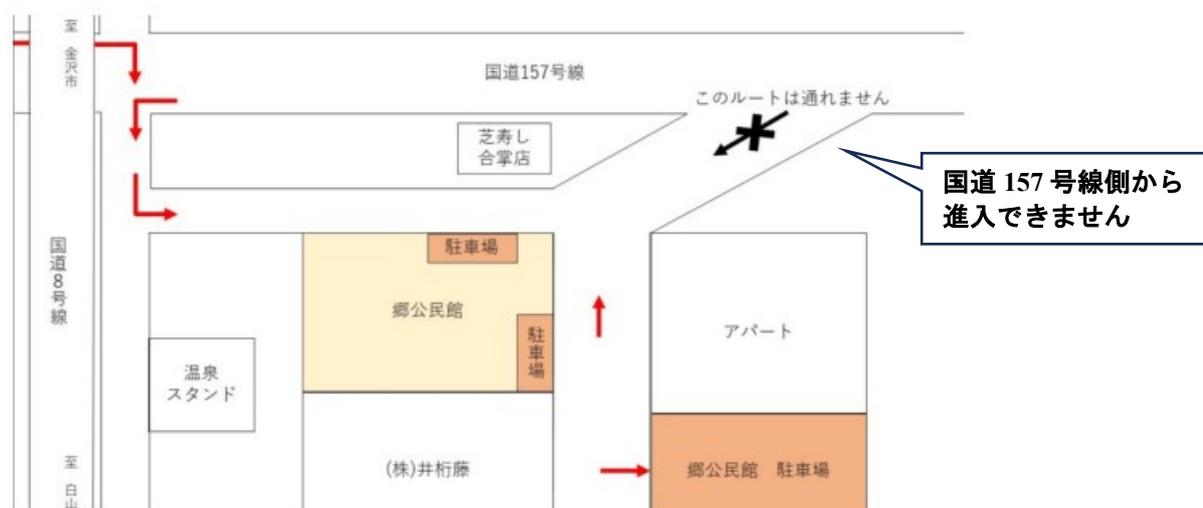
〒921-8823

野々市市田尻町 94 番地

## 【地図】



## 【駐車場】



### ※注意

国道 157 号線側(芝寿しの側道)からは進入できません

交通違反となりますので、上記ルートでの来場をお願いします

## 第 59 回定期総会議事次第

13:00 受付開始

13:30 開会(理事長)・資格審査報告(組織活動担当理事)  
議長選出  
会長挨拶  
来賓挨拶・メッセージ紹介

13:45 議事  
第 1 号議案 2023 年度活動報告承認の件(提案…会長・副会長・理事長・各担当者)  
第 2 号議案 2023 年度収支決算報告承認の件(提案…財政・庶務担当)  
監査報告(報告…監事)  
第 3 号議案 2024 年度活動方針決定の件(提案…会長・副会長・理事長・各担当者)  
第 4 号議案 2024 年度予算案決定の件(提案…財政・庶務担当)

14:30 休憩(10 分)

14:40 第 1～4 号議案、質疑応答・討議  
(第 1～4 号議案 採決)

15:25 第 5 号議案 2024 年度役員選出の件(提案…理事長)  
(第 5 号議案 採決)

15:45 退任役員挨拶(この間に第 1 回理事会開催)  
新任役員挨拶・紹介  
議長退任

16:00 閉会

※ 総会代議員数…石川県勤労者山岳連盟規約第7条に基づき、各会の構成人員5名につき1名(端数切捨て)を選出。なお、代議員数の半数未満において委任が可能。

会名	会員数(2023.11 月末)	代議員数	委任可能数
チャムラン	35	7	3
めっこ	25	5	2
でんでん	9	1	0
白山フウロ	16	3	1
小松ブルーベル	79	15	7
金沢ハイキング	103	20	10
合計	267	51	22

# 第1号議案 2023年度活動報告

## 1. はじめに

今年は、新型コロナも終息が近いと思いきや、今度は、2024年元日に能登半島を中心に地震が発生し、甚大な被害が起きました。石川県勤労者山岳連盟の会員の中にも能登出身の方がいると思います。被災された方々に、お見舞い申し上げます。

2023年度の理事会はZOOM(オンライン)で開催され今では定着して来ました。石川県勤労者山岳連盟の活動を振り返って見ると、白山の自然を考える会より、チブリ尾根登山道整備が、困難な状況からチブリの仲間を立上げ、会員、一般の方々と共に、登山道整備を年間通じて行いました。

県連活動では、事故対処講習会、秋のクリーンハイク、ステップアップ講習会、会間交流登山、各会、県連役員の皆様のご協力により実施され、自粛されていた労山祭りも4年ぶりに、めっこ山岳会主管により医王の里キャンプ場にて開催され各会との交流が出来、楽しむことが出来たと思います。

県連としては、有意義な活動であったと思います。その反面、会員の中では高齢化が進みつつ、今年度は、何件か事故が有り今後の課題となりました。

## 2. 県連活動全体まとめ

### I. 会員数

全体の会員数(23年11月末)は267名で、昨年度から6名増でした。入会数は全体で27名、金沢ハイキングクラブ(16名)と小松ブルーベル山の会(7名)が突出しており、入会者獲得はHPを上手く活用し山岳会の魅力をアピール出来ている会に応募が多い傾向にあります。一方で退会者は全体で25名おり、退会理由には山岳会活動の役員担当や団体行事の煩雑さを挙げる方も多く、今後の山岳団体運営の課題と言えます。

### II. 事故

2023年4月～12月の期間中、石川労山内で発生した事故(2022年度より運用の県連事故報告書フォームでの報告)は、7件でした。今年度は、クライミングや沢登り、山スキーといった高リスクの山行ではなく、一般登山道での事故が多かった特徴がありました。有効な再発防止策が困難な事例が多いですが、事故報告での周知を通じての注意喚起を各会へ伝達しました。

## &lt;資料1&gt;

## 石川県連事故一報 一覧 (2023年4月-12月)

事故発生 日時	性別 年齢	都道府県 山名 山行形態	事故 原因	事故状況	傷病名
5月27日	女性 60代	石川県 富士写ヶ 岳	マダニ	登山道整備後に違和感があり、確認したところマダニを発見。取り払えなかったため皮膚科を受診	切開手術、3針縫合
8月5日	女性 60代	富山県 高高原	転倒	山小屋到着後、パーティーを追って温泉へ行く途中で石に躓き転倒。頭部を強打し出血。山小屋にいた医療従事者、パーティーメンバーで圧迫止血を翌日県警ヘリ到着まで実施	頭部裂傷、40針縫合
8月22日	男性 70代	富山県 薬師岳	転倒	薬師岳山荘～薬師沢キャンプ地間のゴロタ石登山道で足を滑らせて前に転倒したのでつい左手で顔を庇い体重を支えようとした。後から来るガイド付きの3人が気になり少しペースを速めてしまい、足を滑らせた。	左手首関節骨にヒビ
9月15日	男性 50代	富山県 烏帽子岳	転倒	小屋への下り途中で足を滑らせて転倒	右手薬指捻挫
11月3日	女性 60代	石川県 蟹ノ目山	転倒	渡渉時に足を掛けた石上でバランスを失い、前傾姿勢で転倒。右手でカバーしようとして右手首を負傷と推定。	右手首骨折
11月26日	男性 70代	石川県 鷲走ヶ岳	転倒	落ち葉が覆った急な下りの登山道で、落ち葉に隠れた縦根に右足を滑らせ転倒・打撲した。	右足首骨折
12月30日	女性 50代	長野県 乗鞍岳	滑落	下山中、途中停止している時にバランスを崩して滑落。初期停止できず岩に激突後、吹き溜まりで停止	頭部裂傷、前頭部ヒビ、鼻骨骨折、左足首捻挫など(4日間入院)

### Ⅲ. 全国連盟と石川県連

全国連盟からの連絡メールは各会理事を通じて会員に配信しました。2023年6月10日(土)～11(日)に開催された日本勤労者山岳連盟主催 「全国組織担当者会議」(会場:福岡)へ河崎理事(白山フウロ)が県連代表として参加しました。

2024年2月17日(土)・18日(日)の全国連盟第36期第1回評議会(会場:東京)は坂田会長と浅瀬理事が全国連盟理事として出席しました。この中で、能登半島地震での石川県連被災会員への全国連からの支援金に対する謝辞をお伝えしました。

### Ⅳ. 県連4役持ち回り制

こだま山岳会の脱退により再編成したAブロック、Bブロック、Cブロックによる役員選出を継続しました。このルールは、会員個人への過分の負担が軽減される事が期待されており、また実際にその効果が出ております。引き続き、各会のご理解とご協力をお願い致します。なお、『県連4役(会長、副会長、理事長、副理事長)の持ち回り制』は、巻末に掲載いたします。

## 3. 理事会・事務局活動報告

### Ⅰ. 理事会

毎月第2水曜日(8月は第1水曜日)19:30から開始する理事会は全て実施、各会とも参加者9名以上(理事数14名)で成立しました。新型コロナウイルスは5類へ移行しましたが、遠方理事の負担軽減のためオンライン(Zoom)を併用しました。

理事14名、理事会の平均出席者数は11名(出席率68%)、そのうちオンライン参加平均は7名(60%)で、オンライン併用の理事会が定着しています。70%近い高参加率で、各会の積極的な協力を得られ、大変ありがたいと思っております。

### Ⅱ. 事務局

#### (1) 県連ニュースについて

県連ニュースは、理事会の審議内容や決定事項、行事日程を中心に発行しました。

#### (2) 県連事務所について

プロジェクターとスクリーンは、理事会や各会の例会で活用しています。昨年更新した複合機も活用されています。今年度は、エアコンの修理と掃除機の更新を実施しました。事務所ドアのカギ操作が困難となったため、キーシリンダの交換も実施しました。事務所設備に不具合があった場合は、早期に対応しますので気づいた際に事務局へ連絡下さい。

※複合機の使用方法は巻末補足資料を参照

## 4. 組織統括部活動報告

県連内の組織運営に関する専門部会として、会員数の集計や会を跨いだ行事、企画広報活動を下記の通り実施しました。

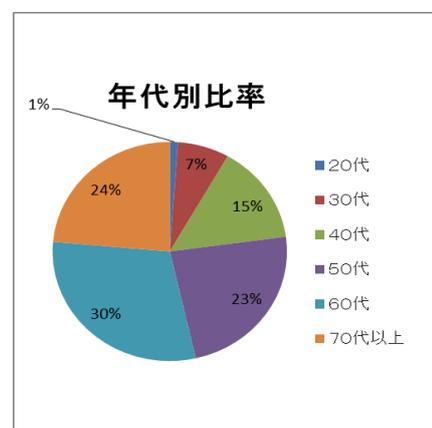
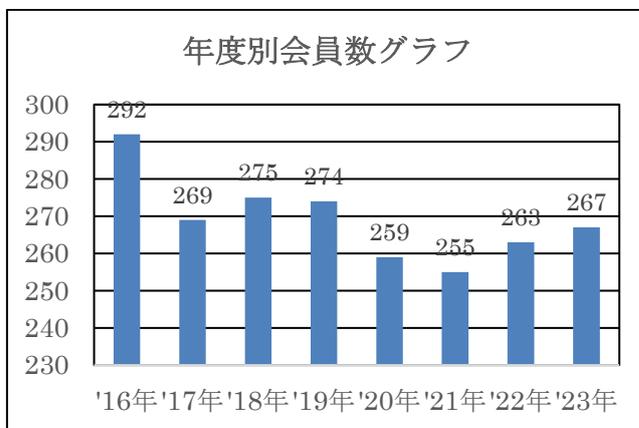
### I. 組織活動関連

今年度から、感染対策を踏まえつつ徐々に新型コロナウイルスとの共存を図り、組織活動を再開することができるようになりました。今後も感染対策を踏まえつつ、参加会員の安全を最優先にした活動を推進します。

#### (1)各会の会員数の推移(2023年11月末調査)

間近2年間は全体数で少しですが増員傾向にあります。また各会共に高齢化が進んでいることがわかります。\*詳細は下記一覧表とグラフを参照願います。

会名	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	増減			2023年度会員数の年代別内訳						性別内訳	
									増減	入会	退会	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	男性	女性
でんでん虫倶楽部	9	10	10	9	9	8	8	9	1	1	0	0	0	0	6	3	8	1	
小松ブルーベル山の会	49	45	47	51	52	61	74	79	5	7	2	1	9	8	22	16	23	48	31
金沢ハイキングクラブ	90	100	105	110	99	102	105	103	-2	16	18	2	3	16	20	40	22	45	58
チャムラン山の会	46	45	44	45	44	42	36	35	-1	0	1	0	3	10	5	8	9	21	14
めっこ山岳会	29	30	36	34	33	28	24	25	1	1	0	0	3	3	10	3	6	21	4
白山フウロ山岳会	28	28	26	18	15	14	16	16	0	2	2	0	1	2	6	7	0	7	9
合計	251	258	268	267	252	255	263	267	4	27	23	3	19	39	63	80	63	150	117



\* 所属会の年度別会員数推移(各年度の11月末時点)

会名	'14年	'15年	'16年	'17年	'18年	'19年	'20年	'21年	'22年	'23年	過去最多会員数	最多時年度	対比現在/最多時
1 でんでん虫倶楽部	13	12	9	10	10	9	9	8	8	9	21	('99)	43%
2 こだま山岳会	43	46	41	11	7	7	7	脱退	0	0	47	('13)	-
3 小松ブルーベル山の会	46	49	49	45	47	51	52	61	74	79	79	('23)	100%
4 金沢ハイキングクラブ	99	87	90	100	105	110	99	102	105	103	136	('99)	76%
5 チャムラン山の会	48	49	46	45	44	45	44	42	36	35	55	('97)	64%
6 めっこ山岳会	32	31	29	30	36	34	33	28	24	25	47	('98)	53%
7 白山フウロ山岳会	21	21	28	28	26	18	15	14	16	16	28	('17)	57%
合計	302	295	292	269	275	274	259	255	263	267	332	('00)	79%

**(2) 労山まつり**

主幹:めっこ山岳会  
 日時:2023年8月26日(土)17:00～  
 場所:医王の森キャンプ場 BBQ サイト(8卓)  
 参加者:49名  
 めっこ山岳会 6名  
 金沢ハイキングクラブ 9名  
 白山フウロ山岳会 12名  
 小松ブルーベル山の会 13名  
 チャムラン山の会 5名  
 でんでん虫クラブ 4名

所感:途中で雨にも降られましたが BBQ 会場は屋根下で快適な労山まつりになりました。夜8時に雨が上がり無事にキャンプファイヤーもできて大変良かったです。また各会や色々な方々と交流ができて楽しい労山まつりになったと思います。

**(3) 北信越ブロック協議会**

## ①北陸地区登山技術研修会

2023年度の実施はありませんでした。

## ②第26回北陸地方雪崩講習会(主管 石川 共催 富山、新潟、福井)

※委員会活動報告を参照

**II. 会間交流**

会を跨いだ交流登山は大盛況でたいへん多くの方の参加がありました。ただ人数が多いことで集合場所や駐車場の問題、車の移動の遅れや混雑時の一般登山者への迷惑など課題も発生しました。

※2023年度 会間交流登山

山岳会名	年月日	山城	サブテーマ	参加者・参加申し込み者						実施	
				フ	小	K	め	チ	で		計
めっこ山岳会	4/9	コット谷	山スキー、				5	1		6+ 一般1	○
白山フウロ山岳会	4/23	陶石山	写真山行	12	11	13		3		39 一般1	○
小松ブルーベル山の会	6/4	大日山	各会混合班で交流	4	15	5		5		29	○
金沢ハイキングクラブ	11/5	丈競山	紅葉狩り	4	17	17				38	○
チャムラン山の会	11/25	高倉山	登山道整備								× 中止
でんでん虫倶楽部	2024/ 2/4	笠山	ワカンハイク								

## Ⅲ. 自然保護活動関連

### (1) クリーンハイク活動

近年、登山者たちのごみのマナーが向上しており、山岳地域におけるゴミの発生が著しく減少しています。持ち帰り文化が広まり山域の美観と環境への配慮が向上しています。

一方で、ゴミの減少と並行して、危険と判断される枝や植生の整備を行いました。

登山ルート上での安全性を確保するため、枝の伐採や最小限の適切な整備を実施し、登山者の事故防止に寄与しています。

#### 2023年 クリーンハイク集計

清掃を行った山域	参加会	参加者数	合計 (kg)	◎登山道近くのゴミの実態や同時に行った活動など	◎クリーンハイクに参加した人の意見など
4月22日 笠山	チャムラン山の会	15名	0.1 kg	オノ、鎌を利用。	ゴミはほとんどなくて登山道西部がメインでした。
5月28日 医王山	金沢ハイキングクラブ	22名	3.2 kg	奥医王山へのルートを清掃しました。 登山道にはほとんどゴミはなく綺麗。枝なども整備しながら歩きました。 駐車場や林道にゴミが多く落ちていました。	毎年恒例の医王山清掃登山を行いました。 天気も晴れていて清掃日和。多くの登山者の方々から感謝のお言葉をいただきました。
9月10日 倉ヶ岳	めっこ山岳会	1名	0.5 kg		道が通行止めで人が入っておらず、ほとんどゴミがなかった。
9月10日 白山	金沢ハイキングクラブ	23名	1.9 kg	砂防新道、観光新道の2コースに分かれて実施。	ほとんどゴミは無いと思っていたが、探し出すと結構あった。
9月24日 大倉岳	白山フウロ山岳会	9名	1.3 kg		秋晴れ。大倉岳は初めてで歩きやすくとも綺麗でした。下山は雪のないスキー場を歩くというなかなか楽しい初体験でした。みんなでワイワイ楽しく登山をしてゴミも拾っての1日でした。
10月8日 順応山	でんでん虫倶楽部	1名	0 kg	下草刈込みを実施。ゴミはなかった。	
11月26日 鞍掛山	小松ブルーベル	16名	1.21 kg	お昼に山形風芋煮会を開催。	4コース、4グループに分け各コースでゴミ拾いを行った。

## Ⅳ. 企画・広報活動報告

### (1) 県連ホームページ(HP)の活動

これまでのHPでは使い勝手やデザインの面で古くなっており、会員や一般の閲覧者に対して十分な情報提供や興味喚起ができていませんでした。新しいメンバーの獲得やイベント参加推進の観点から、ホームページの大幅なリニューアルを実施しました

#### ◆リニューアルの目的:

##### 1. 情報の充実と整備:

ホームページの情報を最新かつ分かりやすく充実させ、新入会員や興味を持っている方々に対して山岳会の活動や価値を十分に伝えます。

##### 2. ユーザーフレンドリーなデザイン:

ホームページのデザインを見直し、ユーザーフレンドリーなインターフェースを導入します。また利用者がスムーズに情報を得られる環境(googleドライブの活用)を構築します。

##### 3. イベントや活動の魅力の強調:

リニューアルに際して、山岳会の魅力や特色を伝えるためのコンテンツを充実させ、参加意欲を引き出す工夫を行います。

※2.の google ドライブ(クラウドストレージ)活用に関して、各会からの会報や資料、事故報告などのスムーズな情報共有を目的としています。データの閲覧(ダウンロード)、アップロードに関しては県連理事会議事録をご覧ください。

(2) 広報活動

1. 県連チラシ(募集チラシ)

2023年度は1回のみでの作成で5月に配布としました。

これまで同様に登山用品店、スポーツ用品店を中心に置いていただき入会募集に努めました。

- ・配布時に各店に残っている前年度分の部数確認を行いました
- ・配布後しばらく後に、残っているチラシを他方に分散しました



※チラシ配布と担当会

配布先		配布枚数 (目安)	担当会
スポーツゼビオ	松任店	30	チャムラン山の会
スポーツゼビオ	金沢ベイ店	30	金沢ハイキングクラブ
スポーツデポ	金沢鞍月店	30	金沢ハイキングクラブ
スポーツデポ	金沢大桑店	30	白山フウロ山岳会
アルペン	小松沖町店	30	小松ブルーベル山の会
KC ウォール		30	めっこ山岳会
V10 野々市		30	チャムラン山の会
好日山荘		60	でんでん虫倶楽部
モルゲンロート	(旧オクトス)	40	小松ブルーベル山の会
オンザロック		20	白山フウロ山岳会
小松ダイナミック		30	小松ブルーベル山の会
ステップ		30	小松ブルーベル山の会
スポーツゼビオ	イオンモール白山店	30	チャムラン山の会
南竜山荘		20	小松ブルーベル山の会
他		10×5カ所	小松ブルーベル山の会
	配布総枚数	490	

\*白山ビジターセンターは置いてもらえず。

## 2. 石川県連紹介動画

各会の山行写真やショート動画を編集し、石川県連の活動動画を作成。  
金沢エムザの好日山荘様にて大型プロジェクターで上映中です。



\*以下 YOU チューブにアップロード済み。

<https://www.youtube.com/watch?v=dMM4RX710io&t=177s>

## V.その他

### (1) 久弥祭への参加

第27回久弥祭

日時:10月22日(日)

場所:丸谷ダム広場(加賀市山中温泉枯淵町 富士写ヶ岳登山口)

※加賀市イベントも同日開催

参加者:久弥祭実行委員会に坂田会長、浅瀬さんが出席。

小松ブルーベル他から多数が参加。

第27回 深田久弥生誕120年  
**久弥祭**

深田久弥 (1903年~1971年)  
石川県大野村(現加賀市)生まれ  
山の文学者、小説家、俳人、ヒマワリ・シルク  
ロースト実業。著書に『日本百名山』や  
『ヒマワリの風情』など多数

深田久弥の原点の山《富士写ヶ岳》に集いましょう

日時: 令和5年10月22日(日) 午前8時より  
場所: 富士写ヶ岳・丸谷ダム広場 石川県加賀市山中温泉枯淵町  
式典: 献題・献花・献句・著作朗読等  
備考: 小雨決行  
但し雨天時の開催は前日の午後4時以降に  
山の文化館まで電話又はメールにてご連絡ください。  
※式典後の富士写ヶ岳登山は自己責任でお願います。  
※深田久弥ゆかりの地散策を行います。  
参加ご希望の方は10:00までに  
「深田久弥 山の文化館」にお越しください。

連絡先: 深田久弥 山の文化館  
石川県加賀市大野町番町18-2  
TEL: 0761-72-3313  
<https://yamanobunkakan.com>

主催: 久弥祭実行委員会  
山中山会会、石川県勤労者山岳連盟、加賀山岳会、加賀八ヶ岳クラブ  
公益社団法人日本山岳会石川支部  
NPO法人深田久弥と山の文化を愛する会  
後援: 加賀市

## 5. 教育遭対統括部活動報告

事故防止に関する専門部会として、会員への知識・技術の向上、学習の場を提供しました。教育遭対行事、救助隊行事を下記の通り実施しました。

### I. 教育遭対活動関連

#### (1) 第14回 ステップアップ講習会 ロッククライミング入門

【日時】： 2023年10月14日（土）～15日（日）

【場所】： 国立登山研修所

【計画概要】： 初級クライミング講習

講師	6名	浅瀬、笹原、高原、山本、都野、1day:江川	
スタッフ	3名	喜多、河崎、安藤	
参加者	10名	一般	3名
(男性	8名)	チャムラン	2名
(女性	2名)	金沢ハイキング	2名
		小松ブルーベル	1名
		白山フウロ	2名

#### <講習内容・スケジュール>

《10月14日》

講習会場:国立登山研修所

時間	講習内容	備考
8:30	受付開始	
9:00	開会式	
班分	ロッククライミング基礎 ・クライミング用具説明 ・ロープワーク ・クライミングシステム 場所:登山研修所 室内人工壁	ハーネス、ロープ、カラビナ、確保器、スリングなど エイトノット、クローブヒッチ、ムンターヒッチなど トップ・リードクライミング、ビレイ、確保点構築など
12:00	昼食(各自)	
13:00	ロッククライミング基礎Ⅱ(実践) ・トップロープクライミング ・リードクライミング ・懸垂下降 場所:登山研修所 屋外人工壁	
16:00	講習終了・かたづけと清掃	
17:30	夕食	
18:30	入浴	
19:30	机上講習(大研修室)	YouTubeなどで動画解説
20:30	懇親会	
22:00	就寝	

《10月15日》

講習会場:国立登山研修所

時間	講習内容	備考
7:00	起床・清掃	
7:30	朝食	
8:00	登山研修所退所・講習場所へ移動 場所:立山登山研修所	・懸垂下降、終了点でのロープの掛け替え
12:00	閉会式	

## 反省・感想：

### 【事前準備・運営】

- ・開催は、準備期間と研修所の空き状況から10月開催となった。募集期間は、県連HPから1か月。参加者は募集人数の半分の10名と少なかった。もっとPRが必要だったと思う。ただ一般の方で県連チラシを見て、開催されることを知って募集された方もおられて、チラシの効果もあることはあるようだった。
- ・講習会の前には講師陣でWebの打ち合わせを開催し、講習内容の確認など情報共有出来て良かったと思う。
- ・食事は河崎さん、喜多さんに料理担当をお願いしました。夕食はハヤシライス。20名ほどの分量でしたが手際よく感心しました。またお米を坂田会長から提供していただき、おいしくいただきました。感謝です。

### 【講習】

<1日目>

9:00、国立登山研修所の体育館で講習を開始。

テキストを配り、『安全な技術』について講習し、すぐに実施してもらう。

天気予報が日曜日は雨予報。そこで、14:00から室外壁に移動し外で講習を行う。（研修所の室外壁も長年の風雨にさらされてコンクリートの劣化が見られます。）

トップロープクライミングとリードクライミングを、受講生にやってもらいます。

喜多さんと河崎さんとが頑張ってくれてボリュームミーな食事にお腹がいっぱい。坂田会長、お米ありがとうございます。食後はビデオ講義と懇親会を楽しみました。

<2日目>

天気予報通りの雨。1日目に室外壁が利用出来て良かったです。

8:00から体育館で懸垂下降の練習。ここも安全確認が大事である事を伝える。

S講師から「終了点の架け替えもやっておいた方がいい」と意見があり、テキストに記載してなかった終了点の架け替えを講習。

最後に、安全のためにはクライマーとビレイヤーとの意思疎通が大事である事や、事故を防止するために気を付ける事（ロープのすっぽ抜け、ロープの結びの確認）などのお話をして、ステップアップ講習会を終了しました。

今日初めてハーネスを装着するという受講生もいましたが、一通りの内容について講習を実施する事ができました。皆さん真剣で（生命がかかっていますので当然ですね）、飲み込みも早くスムーズに講習を実施する事ができました。

ただし、講習会でも言った事ですが、今日学んだ事は「クライミング」や「ロープワーク」の入口に立っただけです、また技術や道具はどんどん新しくなります。

常に技術について学び、アップデートしていく事が大事なのです。

### 【道具・装備】

クライミング装備のハーネス及びクライミングシューズは例年通り片山さんから借り受けました。ただそれだけでは足らずに講師・スタッフからも装備を貸し出ししました。片山さんの道具は古く、そろそろ更新が必要と感じます。また貸出の数によっては今後足りなくなる可能性もあるので県連として装備をどうするか（特にハーネス）検討してもらえたらと思います。

## 【会計について】

今年度の会計は、募集人数 20 名に対して 10 名（会員 7 名、一般 3 名）と半分の参加者だったこと。労山の掛け捨て保険や登山研修所使用料の値上がりなどで、「その他 教育遭対統括部関連」の会計を使用しても 926 円の赤字会計になりました。

予定参加者の半分ということで、収入が減ってしまっていることが大きな要因なので、ステップアップ講習会の PR をもつとする必要があったと思います。

また参加者 10 名に対して講師 6 名と多く講師を少なくすることも考えましたが、参加者に初心者が多く、安全面から 6 名そのままの講師でお願いしました。実際懸垂下降では上と下に講師が分かれる必要があるので、6 名で良かったと感じました。

今回、食事のお米を坂田会長から頂いたため会計として非常に助かりました。ありがとうございます。

今後も今回のように参加者が少ないことも想定されるため、ステップアップ講習会の予算（全国連の安全対策基金以外に）を検討いただきたいです。

支出	【円】	収入	【円】
立山登山研修所 施設利用料		安全対策基金	100000
10/14宿泊（19人分） 2600円/人	49400	受講費（会員）	49000
日帰り（1人分） 500円/人	500	受講費（一般）	27000
施設利用費 合計	49900	<b>教育遭対関連費より</b>	<b>5926</b>
保険		受講料 1 人当り	
労山掛け捨て保険 2500円/人	7500	（会員）	7000
一般の3名のみ		（一般）	9000
謝礼（講師） 10000円/人	50000		
（講師 日帰り） 5000円/人	5000		
（スタッフ） 3000円/人	9000		
（装備借受） 3000円/人	3000		
交通費（6台分）	32000		
食費（夜・朝）	10437		
懇親会・飲料費	13565		
雑費（事務・その他）	1524		
合計	181926	合計	181926

ステップアップ講習会の様子 (<https://iwaf.jp/category/training/step/>)



### (3)北陸地区登山技術研修会

北信越へ実施するかどうかの確認するも音信なく  
本年度の実施実績はありませんでした。

### (4)事故対処講習会

- ◆日 時 : 2023年7月2日(日)
- ◆内 容 : 白山野々市広域消防本部
- ◆参 加 者 : 15名(めっこ;5名、KHC;3名、フウロ;4名、ブルーベル;1名  
チャムラン;1名、でんでん;1名)

#### 【実施内容】

消防署にて救急救命講習。胸部圧迫による心肺蘇生、AEDによる心肺蘇生など

#### 【所感】

以前と蘇生法が更新されていて、人工呼吸よりも胸部圧迫を優先して行うようになっていた。過去の教育のアップデートが出来て良かった。  
また自分で出来るつもりでも、やってみると出来なかつたりで、実際に手を動かしてやる  
ことが大事だと思った。

## II. 救助隊活動関連

### (1)事務局および救助隊組織

各会へ救助隊選任の要請を行い、総勢40名(1次隊 6名、2次隊 35名)で編成しました。  
今年度も救助隊への救助要請はありません。

### (2)救助訓練

#### ①無雪期救助訓練

- ◆日 時 : 2023年6月11日(日)
- ◆内 容 : 医王山ビジターセンター
- ◆主 管 会 : めっこ山岳会
- ◆参 加 者 : ベルクバハト救助隊15名

#### 【内容・感想】

当日は朝から雨のため、医王山ビジターセンターの屋根をお借りして救助訓練を行った。  
浅瀬さんから配布されたテキストの内容に基づき、事故が発生したその場で自分が出来る事、  
山行に行ったチームメンバーで出来る事について「レベルアップ」を図った。  
人数が多いため3班に分かれて訓練を実施した。  
・懸垂下降中の仮固定・登り返し  
・1/3引上げ  
・搬送(ロープ、担架)

ロープを頻繁に扱っているわけではないので、忘れていたり、もたついたりしていたが、実際  
にやってみると思い出すことが出来て良かった。



## ②積雪期救助訓練(予定)

- ◆日時 : 2024年3月10日(日)
- ◆場所 : 未定
- ◆内容 : 未定

## 6. 委員会活動報告

専門部以外の自由な山岳活動として下記の委員会活動を実施しました。専門部とは別目線の知識・技術の向上、学習の場を提供しました。

### I. 北陸雪崩

#### 第26回 北陸雪崩講習会

積雪期登山や山スキー、スノーボードでの雪崩事故リスク低減のため、必要な知識取得と技術向上を目的とした、机上と実地の講習を実施しました。

主催：日本勤労者山岳連盟

主管：石川県勤労者山岳連盟

共催：福井、富山、新潟勤労者山岳連盟

#### ◆日時・会場：

机上講習：2023年12月10日(日) 石川県／松任総合運動公園研修棟

実技講習：2024年1月20日(土)～1月21日(日)

富山県／あわすのスキー場周辺

#### ◆講師。スタッフ・参加者

特別講師	2名	飯田先生、島田先生	
講師・講師養成	15名	朴木、高原、安藤、田中、浅瀬、南、板垣、宅本、織田、高、和多田、富山県連3名、福井県連1名	
スタッフ	5名	河崎、福井県連1名	
参加者	21名	男性 16名、女性 5名	
基礎コース	12名	一般	2名 磯野、大瀬
		小松ブルーベル	2名 内牧、大音師
		金沢ハイキング	2名 安本、吉田
		富山労山	1名 種部
		福井労山	4名 金森、辻、下村、野尻
		長野労山	1名 古川
登山コース	1名	福井労山	1名 高橋
バックカントリーコース	6名	小松ブルーベル	4名 東、保田、松井、三越
		富山労山	2名 藤田、和泉
コンパニオンレスキューコース	2名	小松ブルーベル	1名 江川
		富山労山	1名 眞川

#### ◆反省・感想：

今年度はコロナ禍前の講習に戻して、実技講習は一泊二日の講習になりました。日帰りでの講習に比べて内容が充実していて良かったと思う。

#### 【机上講習】

北陸雪崩講習会の机上講習を行いました。

午前、特別講師に島田先生を迎えて『雪質』の講義。

午後は、各コースに分かれて、実技講習に必要な内容を学びました。



【実技講習】

今年、4年ぶりに一泊での実技講習に戻しました。時間をかけて繰り返し講習が出来るので受講生のレベルが上がっていくのが分かり有意義であったと思う。やはり繰り返しの練習が大事だと思う。

一方、近年の温暖化の影響か、雪が少なく。また二日目は雨となり、思ったように講習できなかったのは残念でした。来年は講習会場をもっと標高の高い場所にするとか、開催時期をもう少し遅くするとか、出来るだけ雪のある状況で講習会を開催できるように検討する予定



## Ⅱ. チブリの仲間

山岳会として日常的に登山道を利用していますが、その道を誰がどのようにして維持管理しているか、知っている方は多くありません。また、維持管理に関わりたくても、国立公園内では自然公園法の規制があり、現実的にはハードルが高いのが実情です。

そんな中で石川労山は20年に亘り、NPO法人白山の自然を考える会に協力して、別山市ノ瀬道維持管理(以下チブリ登山道整備)の実務作業に携わって来ました。そして、2023年度から管理部門も含めた全ての業務をNPO法人白山の自然を考える会から引継ぎました。引き継いだ業務の実施は、県連の他行事に縛られる事なく柔軟な対応が可能なよう、委員会組織として「チブリの仲間」を設立して実施する事としました。

チブリ登山道整備の活動は以下の点で受託元や関係機関から高い評価と信用を得ています。

- ① 国立公園内の登山道を地元山岳団体主体できめ細かい整備を実施
  - ・最低月1回は巡視と整備を実施しており常時良好な状態を維持
  - ・台風や大雨後は早期に巡視を実施し、倒木などの迅速処置を実施
  - ・浸食箇所多数を現地材活用の近自然工法(環境省が推奨)で実施
- ② 登山道維持管理、外来植物対策を一般へ普及啓蒙
  - ・山岳地帯での作業を継続して一般募集している数少ない活動
  - ・一般者をサポートしながら山岳地帯で作業できる山岳団体
- ③ 外来植物対策を登山道維持管理と一体で実施している唯一の団体
  - ・登山道巡視時に外来植物の侵入状況を把握して対策作業を実施

「チブリの仲間」では、「登山道整備」「外来植物対策」「一般啓蒙」を、県連所属山岳会6団体会員による「フットワークとネットワーク」を発揮しての実施を目標としました。石川県からの別山市ノ瀬道維持管理業務と環白山保護利用管理協会からの外来植物対策業務(チブリと三ノ峰)を受託し、労山会員や一般参加者と共に活動しました。統括スタッフとして委員長を理事から選出、副委員長は一般から選出しました。会計担当は県連理事から選出、将来のスタッフ候補として刈り払い機の資格取得を進め(4名が取得)、機材の充実も進めました。刈り払い機は、山岳地帯での運搬を考慮して分割式を導入しました。

登山道整備は具体的な成果品がなく、作業実施レベルが曖昧なため、発注行政担当者と現地での打合せを実施し、今後の作業レベルの指標としました(補足資料に議事録を掲載)。10/28の登山道ミーティングで、今年度の活動を報告しました。

### 【今年度の主要メンバ】

委員長	北市 正(チャムラン山の会・県連理事長)
副委員長	太田 明雄(一般)
会計	伏見 葉子(金沢ハイキングクラブ・県連理事)
スタッフ候補(下草刈込)	杉本 猛(金沢ハイキングクラブ・県連理事) 池島 裕之(金沢ハイキングクラブ)
スタッフ候補(登山道整備、一般補助)	増美 友里(一般)

### 【資格取得者】

刈り払い機安全教育	北市 正(チャムラン山の会) 杉本 猛(金沢ハイキングクラブ) 坂田 孝雄(でんでん虫倶楽部) 池島 裕之(金沢ハイキングクラブ)
チェーンソー	なし

## 【今年度実績】

実施日	内容	労山参加者	一般	合計
4/15	キックオフミーティング	各会から 21 名	1 名	22 名
5/27	実地作業	チャムラン 8 名 ハイキング 11 名	1 名	20 名
6/18	実地作業	チャムラン 1 名 でんでん 4 名 ハイキング 4 名	1 名	10 名
7/15	実地作業	チャムラン 1 名	1 名	2 名
7/22	実地作業	チャムラン 3 名 ブルーベル 12 名	4 名	19 名
7/30	実地作業	チャムラン 1 名	1 名	2 名
8/20	実地作業	チャムラン 1 名 めっこ 4 名 ハイキング 1 名 でんでん 1 名	1 名	8 名
9/3	実地作業	チャムラン 1 名 ハイキング 16 名	3 名	20 名
9/11	環境省、県との実地打合せ	チャムラン 3 名	—	3 名
10/21	実地作業		中止	中止
10/22	実地作業	チャムラン 1 名	—	1 名
10/28	登山道ミーティング	各会から 10 名	2 名	12 名
実地作業の合計		73 名	12 名	85 名

## 【今年度の所感と反省点】

- ・実地活動は 10 回、延べ参加人数は 85 名(うち労山が 73 名)
- ・比較的天候に恵まれ 10/22 以外は予定通りに実施
- ・参加人数が多い回は作業分担に手間取った、来年度は事前に打ち合わせする
- ・全ての活動を月 1 回の行事で実施するにはスタッフ要員が多数必要
- ・撤回回が悪天中止となりリカバリーに苦労した、来年度は予備日が必要
- ・7/22 実施日に鎌で手を切創する事故が発生、来年度は事故防止に努める
- ・9/11 に環境省、県担当者と現地で作業内容、実施レベルについて打合せを実施  
※今年度活動報告、打合せ議事録は巻末資料に掲載

## 【会計】※詳細は次頁に掲載

- ・収入(見込み):616,275 円
- ・支出(消耗品等):204,331 円  
(経費支払):202,500 円
- ・残金:209,404 円  
※残金は各会へ 34,907 円均等割(24 年度収入分に計上)

## 【収入】

費目	項目	入金日	金額	予算
収入	市ノ瀬別山道維持管理 (前金)	2023/7/31	396,000	396,000
	(残金)	※未	99,000	99,000
	生態系維持回復事業	※未	121,275	121,275
計			616,275	Ⓐ

## 【支出】

費目	内容	支払日	金額	領収書No.
教育訓練費	刈払機安衛教育講習費 (杉本)	2023/5/25	11,000	1
教育訓練費	刈払機安衛教育講習費 (北市)	2023/5/1	11,000	2
教育訓練費	刈払機安衛教育講習費 (坂田)	2023/6/29	11,000	3
教育訓練費	刈払機安衛教育講習費 (池島)	2023/9/4	11,000	4
雑費	収入印紙	2023/5/21	200	5
雑費	郵送料	2023/7/9	120	6
雑費	コピー費	2023/5/27	300	7
雑費	syou	2023/7/13	250	8
保険	団体登録料	2023/5/21	2,262	9
保険	5/27、6/18活動分	2023/6/28	15,025	10
消耗品	草刈機、備品	2023/5/14	62,312	11
消耗品	ハエ・虫取り	2023/5/26	1,150	12
消耗品	洗剤、軍手、ほか	2023/5/26	5,695	13
消耗品	杭、丸棒	2023/6/9	1,088	14
消耗品	ホース、トラブラス、ボルト、ナット	2023/6/15	2,745	15
消耗品	杭、異形丸鋼	2023/6/15	1,494	16
消耗品	ガンリン	2023/6/17	1,936	17
消耗品	分割式草刈機、工具セット	2023/7/21	22,980	18
消耗品	ガーゼ、包帯、カットパン、ほか	2023/7/21	3,308	19
雑費	打合せ経費 (コーヒー代)	2023/8/5	1,040	20
雑費	ATM硬貨預払料金	2023/8/8	110	-
雑費	文房具 (紙ファイル、ルーズリーフ、ケース)	2023/8/9	330	21
保険	7/15活動分	2023/8/14	2,418	22
保険	7/22活動分	2023/8/14	8,163	23
保険	7/30活動分	2023/8/14	2,418	24
消耗品	インクカートリッジ	2023/8/19	1,102	25
消耗品	燃料、ガソリン注入ノズル、ジョーゴ	2023/8/19	1,602	26
消耗品	ボルト、ナット、ステンワッシャー、セーフティール	2023/8/17	2,115	27
消耗品	チェーンソー刃	2023/8/9	2,912	28
消耗品	携行缶バッキンセット、水溶性チェーンソーオイル	2023/7/1	3,228	29
保険	8/20活動分	2023/8/30	4,716	30
保険	9/3活動分	2023/9/13	9,312	31
計			204,331	Ⓑ

## 【経費支払】 延べ参加人数 経費

チャムラン	20	2500	50,000
めっこ	4	2500	10,000
ハイキング	32	2500	80,000
ブルーベル	12	2500	30,000
でんでん	5	2500	12,500
太田さん	6	2500	15,000
増美さん	2	2500	5,000
計			202,500

## 【残高】

残高	209,444	Ⓐ - Ⓑ - Ⓒ
----	---------	-----------

## 【各会支払】

34,907
--------

## 第2号議案 2023年度決算報告

2023年2月1日～2024年2月1日

### 【一般会計】

#### 収入の部

項目	会間交流関連	決算	予算	増減	備考
<b>1. 連盟費</b>	<b>計</b>	<b>1,210,380</b>	<b>1,220,280</b>	<b>-9,900</b>	
	一律分担金	24,000	24,000	0	¥4000*6団体
	比例分担金	1,186,380	1,196,280	-9,900	上期263名/下期256名 380円/月・人:100人超330円/月・人
<b>2. 事務所使用料</b>	<b>計</b>	<b>198,600</b>	<b>262,800</b>	<b>-64,200</b>	
	白山の自然を考える会	60,000	120,000	-60,000	6ヶ月分
	めっこ・チャムラン・でんでん	138,600	142,800	-4,200	上期68名/下期64名:175円/月・人
<b>3. 雑収入</b>	<b>計</b>	<b>126,959</b>	<b>279,810</b>	<b>-152,851</b>	
	コピー使用料	50	1,500	-1,450	
	印刷機使用料	0	2,000	-2,000	
	全国連盟安全対策基金補助	100,000	100,000	0	ステップアップ講習会
	登山道整備県連分	0	150,000	-150,000	ちぶりの仲間で会計
	預金利息	9	10	-1	
	地方団体事務推進費	26,900	26,300	600	地方団体事務推進費269名*¥100
	その他/未収金	0	0	0	
	<b>合計</b>	<b>1,535,939</b>	<b>1,762,890</b>	<b>-226,951</b>	

#### 支出の部

項目	内訳	決算	予算	増減	備考
<b>1. 全国連盟費</b>	<b>計</b>	<b>431,880</b>	<b>431,880</b>	<b>0</b>	
	一律分担金	21,600	21,600	0	¥3600*6団体
	比例分担金	410,280	410,280	0	¥130*263名*12カ月
<b>2. 事務所関係費</b>	<b>計</b>	<b>599,356</b>	<b>486,000</b>	<b>113,356</b>	
	家賃	555,000	444,000	111,000	¥37000/月 ※2024年2・3・4月を誤って支払
	水道料金	16,236	14,000	2,236	
	電気料	18,120	18,000	120	
	火災保険料,更新料	10,000	10,000	0	
<b>3. 事務局費</b>	<b>計</b>	<b>84,410</b>	<b>72,000</b>	<b>12,410</b>	
	消耗品費	29,485	1,000	28,485	
	インターネット回線	47,000	47,000	0	おてがるマンション光3883*12
	通信費	0	1,000	-1,000	
	コピー管理費	4,855	10,000	-5,145	インク代
	印刷機経費	0	5,000	-5,000	
	県連蔵書代	0	0	0	
	振込料	3,070	8,000	-4,930	
<b>4. 会議費</b>	<b>計</b>	<b>101,643</b>	<b>135,000</b>	<b>-33,357</b>	
	総会会場費等	0	10,000	-10,000	
	総会議案書印刷代	72,098	55,000	17,098	外注印刷(2022年度総会)
	理事会交通費	7,320	40,000	-32,680	
	会議費等	0	10,000	-10,000	
	オンライン会議費	22,225	20,000	2,225	Zoom年会費
<b>5. 活動費</b>	<b>計</b>	<b>306,103</b>	<b>575,000</b>	<b>-268,897</b>	
	専門部活動費	292,103	510,000	-217,897	専門部決算*1
	他団体会費	0	25,000	-25,000	白山の自然を考える会
	会議派遣費	0	20,000	-20,000	専門部決算*2
	講習会派遣費	14,000	20,000	-6,000	専門部決算*2
<b>6. 予備費</b>	<b>計</b>	<b>0</b>	<b>10,000</b>	<b>-10,000</b>	
<b>7. 特別会計繰入</b>	<b>計</b>	<b>51,900</b>	<b>51,300</b>	<b>600</b>	
	地方団体事務推進費	26,900	26,300	600	遭難対策特別会計
	記念事業特別会	25,000	25,000	0	特別支出準備金特別会計へ
<b>8. 連盟費返金</b>	<b>計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
	2023年度分	0	0	0	
	<b>小計</b>	<b>1,575,292</b>	<b>1,761,180</b>	<b>-185,888</b>	
	<b>当期剰余金</b>	<b>-39,353</b>	<b>1,710</b>	<b>-41,063</b>	

#### 剰余金

項目	決算	予算	増減	備考
<b>1. 前年度繰越金</b>	<b>1,055,263</b>	<b>1,055,263</b>	<b>0</b>	
<b>2. 当期剰余金</b>	<b>-39,353</b>	<b>1,710</b>	<b>-41,063</b>	
<b>3. 次年度繰越金</b>	<b>1,015,910</b>	<b>1,056,973</b>	<b>-41,063</b>	

ゆうちょ通帳(次年度繰越金) 1,014,560

現金(カレンダー代未入金、コピー機) 1,350

→ 一般会計繰越金

1,015,910

\* 1 専門部活動費決算

専門部	細目	決算	予算	増減
組織活動統括部	労山まつり企画補助	9,900	10,000	-100
	北信越交流登山関連	0	10,000	-10,000
	会間交流関連	0	20,000	-20,000
	登山道整備参加者助成	0	150,000	-150,000
	登山道整備備品購入	0	30,000	-30,000
	県連ホームページ・プロバイダー	29,877	30,000	-123
	広報関係チラシ作成	70,000	20,000	50,000
	その他、組織活動統括部関連	0	5,000	-5,000
	小計	109,777	275,000	-165,223
教育遭対統括部	ステップアップ登山講習会(保険含む)	100,926	100,000	926
	ベルクバハト特別会計へ	36,400	70,000	-33,600
	全国連盟安全対策基金補助(北陸雪崩分担金)	40,000	40,000	0
	事故対処講習会	0	10,000	-10,000
	北陸地区登山技術講習会	0	10,000	-10,000
	その他、教育遭対統括部関連	5,000	5,000	0
	小計	182,326	235,000	-52,674
	合計	292,103	510,000	-217,897

\* 2 派遣費決算

科目	細目	決算	予算	増減
会議派遣費	全国総会日当・宿泊費1名分	0	10,000	-10,000
	全国山岳遭難対策協議会	0	10,000	-10,000
	合計	0	20,000	-20,000
講習会派遣費	全国組織担当者会議(福岡県)、山岳医療の研修(冬期)	14,000	20,000	-6,000
	合計	14,000	20,000	-6,000

【特別会計】

(1) 県連遭難対策特別会計収支報告

項目	収入	項目	支出
前年度繰越金	2,100,474	次年度繰越金	2,127,392
遭対還元金	26,900		
預金利息	18		
合計	2,127,392	合計	2,127,392

北國銀行普通預金 ¥2,127,392

※ 設置目的 遭難時緊急支援基本のベースとなる資金  
救助隊の高額装備の整備・隊員の技術力向上のための  
特別研修や活動支援のための資金

(2) 県連財政調整特別会計収支報告

項目	収入	項目	支出
前年度繰越金	1,436,305	次年度繰越金	1,436,317
預金利息	12		
合計	1,436,317	合計	1,436,317

北國銀行普通預金 ¥1,436,317

※ 設置目的 一般会計・他の特別会計の不足資金の補給  
一般会計に負荷のかかる資金需要への対応

(3) 県連特別支出準備金特別会計報告

項目	収入	項目	支出
前年度繰越金	475,938	次年度繰越金	500,942
積立	25,000		
預金利息	4		
合計	500,942	合計	500,942

北國銀行普通預金 ¥500,942

※ 設置目的 記念事業の準備資金  
多額の臨時支出（高額の備品の購入等）の準備金

(4) 救助隊ベルクバハト特別会計収支報告

項目	収入	項目	支出
前年度繰越金	100,000	無雪期訓練費	15,000
県連一般会計より	36,400	積雪期訓練費	21,400
		交流会	-
		装備購入	-
		振込手数料	-
		次期繰越金	100,000
合計	136,400	合計	136,400

★県連保有資金合計	
一般会計	1,015,910
おてがるマンション光口座	19,879
遭対特別会計	2,127,392
財政調整特別会計	1,436,317
特別支出準備金	500,942
ベルクバハト	100,000
合計	5,200,440

県連一般会計から繰入れられました

※ 設置目的 救助隊の経常的な活動経費

## **第3号議案 2024年度活動方針**

### **1. はじめに**

前年度同様に新型コロナの終息が近い中でも注意しながら県連活動を行います

- 1) 2024年度は、『継続は力なり』とチブ利尾根の登山道整備をチブリの仲間と連携しながら行います
- 2) 登山の多様化が進む中で老若男女、山に登る、楽しむ、高齢化が進む中で事故防止の講習会、勉強会等、高みを目指すサポートすることが県連の役目と思っています。
- 3) 2024年元日、能登半島を中心に地震が発生し甚大な被害が起きました。石川勤労者山岳連盟として、少しでも被災された方々に支援したいと思えます。会員の皆様にご協力をよろしくお願いいたします。

### **2. 理事会・事務局運営方針**

#### **(1)理事会**

原則、毎月第2水曜日の19:30から理事会を開催します(8月は第1水曜日に実施)。新型コロナウイルスの第5類化以降も、オンラインによる理事会参加が定着していることから、24年度もオンラインは継続します。

23年度の退会理由に山岳団体の役員担当の煩雑さが挙がっています。理事、役員への負担軽減策として、事務作業の定型化と明文化による簡素化、理事会開催時間の短縮による拘束時間低減を図って行きます。具体的には、組織または遭対統括を兼ねる副会長の負担が大きいため、実務は別団体が実施している委員会活動の報告/次年度計画を委員会へ分離します。また年中行事化している活動の量、質を落とすことなく事務負担を軽減する方策として、各会の協力を得て会間交流やクリーンハイク、労山まつりの次年度日程を今年度内に決めて頂きました。

理事、役員間の連絡は従来のメーリングリストを活用しますが、サービス提供側のセキュリティ強化でメールの未着も発生しています。24年度は、より連絡ネットワークの良いLineグループも活用して意思疎通、情報共有を迅速、密にします。

24年度も昨年度同様、全国連盟からの連絡事項は理事間で情報共有して各会へ展開します。また、理事会・県連の動きが分かるように県連ニュースを発行します。

## (2)事務局

- ① 県連ニュースは理事長が発行します。全国連盟・県連の情報提供ができるよう努めます。
- ② 理事会の議事録の作成について、理事長が発行いたします。  
県連ニュース・理事会議事録は県連共有ドライブ(googleドライブ)に掲載します
- ③ 業務の引き継ぎがスムーズに行われるよう、役割分担表の作成や引き継ぎの場を設けるなど、県連の業務が円滑に進行していくようにいたします。
- ④ 事務所管理(資料・備品の整理、清掃、消耗品の補充等)を確実にを行い、例会等で事務所を利用する会と県連とで定期的に掃除を行い、環境配慮に努めます。  
※事務所掃除当番  
4.8.12月…県連(12月は県連担当で大掃除)  
5.9.1月…でんでん  
6.10.2月…チャムラン  
7.11.3月…めっこ。(12月は県連担当で大掃除)
- ⑤ 県連事務所は県連HPを利用して予約し、年度単位で確認し、重複予約を防ぎます。(特に、臨時理事会など)
- ⑦ 能登半島地震の支援ボランティアに石川県勤労者山岳連盟で団体登録しました  
石川県からのボランティア要請は都度、各会へ伝達して協力依頼します。
- ⑧ 県連共有ドライブに各会の会報の保存先を設けました  
会報のアップロード状況は理事会を通じて各会へ伝達し、各自が閲覧できるようにします  
※共有ドライブへのアクセスは巻末の補足資料を参照

### 3. 組織活動統括部活動方針

#### I. 組織活動関連

##### (1) 組織活動の方針

前年度から、感染対策を踏まえつつ徐々に新型コロナウイルスとの共存を図り、組織活動を再開することができるようになりました。今後も感染対策に注視し、参加会員の安全を最優先に活動を展開します。魅力的な会間交流山行の企画、ホームページやアピール動画を活用した広報活動も継続して行います。

##### (2) 労山まつり

2024年度はチャムラン山の会が幹事会です。実施日は9月29日(日)、泊りBBQ以外のイベントを企画中です。盛り上げていきましょう。

下記は2024年度以降の主催山岳会一覧予定です。

2024年	チャムラン山の会	2027年	金沢ハイキングクラブ
2025年	でんでん虫倶楽部	2028年	白山フウロ山岳会
2026年	小松ブルーベル山の会	2029年	めっこ山岳会

##### (3) 北信越ブロック協議会

北信越ブロック(石川、富山、福井、新潟、長野各県連)で連携を図り活動を進めていきたいと思えます。

###### ① 北信越交流登山

2024年度の開催はありません。

###### ② 第26回北陸地区雪崩講習会(主管 石川 協賛 福井、富山、新潟)

※委員会で内容を記載します。

###### ③ 北陸地区登山技術研修会

※教育遭対統括部で内容を記載します。

## II 会間交流

各会の横のつながり、新たなコミュニケーションの場となっている交流登山。

各会魅力的な交流登山を提案しています。

予定月日	山域	内容	主管会
4月21日(日)	高倉山	登山道整備	チャムラン山の会
6月23日(日)	未定	沢登り初級	めっこ山岳会
10月5日(土)	赤兎山	交流登山	でんでん虫倶楽部
11月17日(日)	日野山	交流登山	小松ブルーベル山の会
11月30日(土)	蓮如山、鷹落山	交流登山	金沢ハイキングクラブ
未定	未定	未定	白山フウロ山岳会

## Ⅲ. 自然保護活動関連

### (1) 清掃登山活動

春、秋に各会で計画し清掃登山を実施します。近年は登山道のゴミは少なく、登山口周辺や駐車場、トレイル上の危険な枝払い等の簡単な整備も行っています。活動結果を全国連盟へ報告します。

#### 2024年度 クリーン登山予定

予定月日	山岳会名	山城など
5月26日(日)	金沢ハイキングクラブ	医王山
6月23日(日)	めっこ山岳会	未定(会間交流の帰途に実施)
9月8日(日)	金沢ハイキングクラブ	白山
10月20日(日)	小松ブルーベル	鞍掛山
10月20日(日)	でんでん虫倶楽部	順応山
10月27日(日)	チャムラン山の会	猪鼻山
未定	白山フウロ山岳会	未定

## Ⅳ. 企画・広報活動

### (1) 県連ホームページの活動

新しいメンバーの獲得やイベント参加促進の観点から、ホームページの大幅リニューアルを実施しました。今後は定期的な更新を忘れずに行い、常に最新かつ魅力的な情報配信を心掛けることで新規会員の獲得に繋がります。また google ドライブを利用したデータ共有を進めます。

### (2) 広報活動 県連チラシ

県連チラシを年1回、5月に作成、配布を予定しますが、チラシによる新入会員獲得に繋がる効果について再検討を行う予定です。次回チラシ配布を行う際は、登山後に立ち寄る温泉地への配布を検討します。

### (3) 広報活動 県連及び各会の活動アピール動画

毎年動画を更新し、金沢エムザの好日山荘様での上映をお願いしたいと思っています。You チューブにも公開済み。他の SNS の活用も検討します。

## Ⅴ. その他

### (1) 久弥祭

県連役員、及び会員が参加し盛り上げに貢献します。

### (2) 他団体との連携

他山岳団体との共同イベントの企画等、連携を図っていきたいと思います。

## 5.教育遭対統括部活動方針

今年度も、会員の山の知識・技術の向上、学習の場の提供として、石川県連の「教育遭対」が役割を果たせるように努めたいと思います。昨年度の事故事例を教訓とし、同じ事故を未然防止する事、事故発生時の迅速適切な処置の実施を軸に安全安心登山を進めて参ります。

### I. 教育遭対活動関連

#### (1)第15回ステップアップ講習会

【日時】：未定

【場所】：富山県立山登山研修所及びその周辺(予定)

【計画概要】：初級クライミングコース

【募集人数】：20名程度

【講師】：石川労山の適格者と、県連の教育遭対役員等で対応

【検討事項】：参加人数の確保を目的に如何にPRするか検討したい

#### (2)北陸地区登山技術研修会

隔年開催を行なっている北陸地区登山技術研修会は3県合同研修会で、企画目的、内容を設定し、県連所属会に参加者を求めます。当技術講習会の参加者は、研修の成果を持ち帰って所属会での講習会、研修会の企画、指導にあたって頂きたいと思います。

なお、2024年度は活動が未定のため、決まり次第「県連ニュース」にて周知します。

#### (3)事故対処講習会

2023年度は、下山中の転落事故が多く発生していたため、筋力UP、バランス力UPのための講習を検討します(山筋ゴーゴー体操など)。内容が決まり次第、各会へ周知します。

### II. 救助隊活動関連

労山会員の事故、遭難発生に対し、所属会からの要請を受け救助・救出活動にあたる隊員の訓練を本年度も継続して行います。労山所属会の自らの救助、救出訓練を合同で行なうこととしております。本年度は、小松ブルーベル山の会との合同訓練を行います。各会においては、自主的に事故や救助についての学習会や訓練機会を設け、自らの救助行動のレベルアップに努めて下さい。25年度の主幹会はチャムラン山の会です。

#### (1)事務局および救助隊組織

救助活動発生に伴う、県連と所属会との連携、隊長以下隊員との連絡、出動要請の為の隊員名簿一覧(住所、電話番号、メールアドレスなど)を整備します。

救助隊については、新隊長の組織構想を基に編成しますが、今年度以降の活動をさらに精力的にかつ円滑に推し進めていくために隊員数の増員・増強を各会に呼びかけます。

また、ベルクバハト救助隊のメーリングリストのメンテナンスと活用を行います。

#### (2)救助隊員の技量向上に向けた研修、講習への参加

選任された救助隊員の中から、救助技術の習得、向上に向けた外部企画の講習や研修への(例:国立登山研修所などの救助活動講習など)参加希望者を募集し、講習費用の一定額を負担します。

#### (3)救助訓練

日程が決まり次第、県連ニュースにて周知いたします。

①無雪期救助訓練

②積雪期救助訓練

## 6.委員会活動方針

今年度も、専門部以外の自由な山岳活動として下記の委員会を実施します。専門部とは別目線の知識・技術の向上、学習の場を提供します。多数の参加をお待ちしております。

### I. 北陸雪崩

#### (2)第27回 北陸雪崩講習会

今年度も引き続き、積雪期登山や山スキーでのリスク低減のため、知識向上と技術向上を目的として実施します。参加者は、労山会員以外にも一般の方の参加者も多く、労山組織の枠を超えた北陸エリアの雪崩講習会を開催という実態になって来ています。これまでの蓄積を基に、本年度も講習会を開催します。

【主催】：日本勤労者山岳連盟

【主管】：石川県勤労者山岳連盟

【共催】：福井、富山、新潟県勤労者山岳連盟

◆日時・会場：

机上講習 12月を予定・場所未定

実技講習 1月を予定・場所未定

### II. チブリの仲間

今年度も引き続き、石川県からの別山市ノ瀬道維持管理業務と環白山保護利用管理協会からの外来植物対策業務(チブりと三ノ峰)を受託し、労山会員や一般参加者と共に活動します。23年度の実績から、「登山道整備」「外来植物対策」「一般啓蒙」を月1回の活動で実施するのは困難と判断し、現状の実力に合わせて「労山各会と協力した登山道整備」「委員長主体の活動」「一般募集」に分けて実施します。

下草刈込、登山道整備、外来植物対策、一般参加者補助に関するスタッフ要員の養成に努め、各会へ刈り払い機やチェーンソー資格取得を促すと共に、委員長主体活動の中に、スタッフ養成の教育を組み込んで行きます。

一般募集は、いしかわ自然学校やいしかわ地域おこし協力隊を活用します。23年度は、鎌で手を切創する事故が発生しましたので、24年度は事故防止に努めます。

#### 【24年度の主要メンバ】

委員長	北市 正(チャムラン山の会・県連理事)
副委員長	太田 明雄(一般)
会計	県連理事より選任
スタッフ候補(下草刈込)	杉本 猛(金沢ハイキングクラブ・県連理事)
7/20にレベル合わせ教育	池島 裕之(金沢ハイキングクラブ)
	各会へ募る
スタッフ候補(登山道整備、一般補助)	増美 友里(一般)
7/20にレベル合わせ教育	各会へ募る

#### 【資格取得予定者】

刈り払い機安全教育	各会に募る
チェーンソー	北市 正(チャムラン山の会)

## 【今年度の予定】

## (1) 労山各会との登山道整備

月日	会
5/18(土)	白山フウロ山岳会
6/15(土)	チャムラン山の会・でんでん虫倶楽部
7/7(日)	ブルーベル
8/24(土)※追加	金沢ハイキングクラブ
9/1(日)	めっこ山岳会
10/19	金沢ハイキングクラブ

## (2) チブリの仲間委員長主体の活動

月日	内容
5/11(土)	残雪後の点検
6/8(土)	外来植物対策
7/13(土)	スタッフ候補との現地レベル合わせ勉強会
8/10(土)	登山道整備/避難小屋塗装
9/14(土)	登山道整備/避難小屋塗装
10/20(土)	登山道整備/外来植物対策
10/26(土)	登山道整備/外来植物対策
11/9(土)	登山道ミーティング

## (3) 一般募集の活動(いしかわ自然学校へプログラム申請)

月日	内容
5/25(土)	登山道整備
6/22(土)	オオバコ除去
7/6(土)	自然観察会
8/3(土)	登山道整備
9/7(土)	自然観察会
10/5(土)	登山道整備





# 第4号議案 2024年度予算案

2024年2月2日～2025年1月31日

## 【一般会計】

### 収入の部

項目	内訳	24年予算	23年決算	23年予算	前年実績比	備考
<b>1. 連盟費</b>	<b>計</b>	<b>1,239,720</b>	<b>1,210,380</b>	<b>1,220,280</b>	<b>29,340</b>	
	一律分担金	24,000	24,000	24,000	0	¥4000*6団体
	比例分担金	1,215,720	1,186,380	1,196,280	29,340	会員数267名で試算 380円/月・人:100人超330円/月・人
<b>2. 事務所使用料</b>	<b>計</b>	<b>144,900</b>	<b>198,600</b>	<b>262,800</b>	<b>-53,700</b>	
	白山の自然を考える会	0	60,000	120,000	-60,000	
	めっこ・チャムラン・でんでん	144,900	138,600	142,800	6,300	会員数69名で試算 175円/月・人
<b>3. 雑収入</b>	<b>計</b>	<b>128,804</b>	<b>126,959</b>	<b>279,810</b>	<b>1,845</b>	
	コピー使用料	1,500	50	1,500	1,450	
	印刷機使用料	2,000	0	2,000	2,000	
	全国連盟安全対策基金補助	100,000	100,000	100,000	0	
	登山道整備県連分	0	0	150,000	0	
	預金利息	10	9	10	1	
	地方団体事務推進費	26,700	26,900	26,300	-200	
	その他/未収金	(1,406)	0	0	-1,406	2023年度交通費未精算分、コピー機使用料
	<b>合計</b>	<b>1,513,424</b>	<b>1,535,939</b>	<b>1,762,890</b>	<b>-22,515</b>	

### 支出の部

項目	内訳	24年予算	23年決算	23年予算	前年実績比	備考
<b>1. 全国連盟費</b>	<b>計</b>	<b>431,880</b>	<b>431,880</b>	<b>431,880</b>	<b>0</b>	
	一律分担金	21,600	21,600	21,600	0	¥3600*6団体
	比例分担金	410,280	410,280	410,280	0	¥130*263名*12カ月
<b>2. 事務所関係費</b>	<b>計</b>	<b>379,000</b>	<b>599,356</b>	<b>486,000</b>	<b>-220,356</b>	
	家賃	333,000	555,000	444,000	-222,000	¥33000/月 ※前期に3ヶ月分支払
	水道料金	17,000	16,236	14,000	764	
	電気料	19,000	18,120	18,000	880	
	火災保険料,更新料	10,000	10,000	10,000	0	
<b>3. 事務局費</b>	<b>計</b>	<b>191,000</b>	<b>84,410</b>	<b>72,000</b>	<b>106,590</b>	
	消耗品費	90,000	29,485	1,000	60,515	県連事務所ノートPC購入
	インターネット回線	47,000	47,000	47,000	0	
	県連ホームページ・プロバイダー	30,000	29,877	30,000	123	※専門部活動費から移動
	通信費	1,000	0	1,000	1,000	
	コピー管理費	10,000	4,855	10,000	5,145	
	印刷機経費	5,000	0	5,000	5,000	
	振込料	8,000	3,070	8,000	4,930	
<b>4. 会議費</b>	<b>計</b>	<b>135,100</b>	<b>101,643</b>	<b>135,000</b>	<b>33,457</b>	
	総会会場費等	6,000	0	10,000	6,000	
	総会議案書印刷代	79,000	72,098	55,000	6,902	
	理事会交通費	20,000	7,320	40,000	12,680	
	会議費等	10,000	0	10,000	10,000	
	オンライン会議費	20,100	22,225	20,000	-2,125	Zoom年会費
<b>5. 活動費</b>	<b>計</b>	<b>340,000</b>	<b>306,103</b>	<b>575,000</b>	<b>33,897</b>	
	専門部活動費	300,000	292,103	510,000	7,897	専門部決算*1
	他団体会費	0	0	25,000	0	(白山の自然を考える会)
	会議派遣費	20,000	0	20,000	20,000	専門部決算*2
	講習会派遣費	20,000	14,000	20,000	6,000	専門部決算*2
<b>6. 予備費</b>		<b>10,000</b>	<b>0</b>	<b>10,000</b>	<b>10,000</b>	
<b>7. 特別会計繰入</b>	<b>計</b>	<b>51,700</b>	<b>51,900</b>	<b>51,300</b>	<b>-200</b>	
	地方団体事務推進費	26,700	26,900	26,300	-200	
	記念事業特別会	25,000	25,000	25,000	0	特別支出準備金特別会計へ
<b>8. 連盟費返金</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
	<b>小計</b>	<b>1,538,680</b>	<b>1,575,292</b>	<b>1,751,180</b>	<b>-36,612</b>	
	<b>当期剰余金</b>	<b>-25,256</b>	<b>-39,353</b>	<b>11,710</b>	<b>14,097</b>	

### 剰余金

項目	24年予算	23年決算	23年予算	前年実績比	備考
<b>1. 前年度繰越金</b>	<b>1,015,910</b>	<b>1,055,263</b>	<b>1,055,263</b>	<b>-39,353</b>	
<b>2. 当期剰余金</b>	<b>-25,256</b>	<b>-39,353</b>	<b>1,710</b>	<b>14,097</b>	
<b>3. 次年度繰越金</b>	<b>990,654</b>	<b>1,015,910</b>	<b>1,056,973</b>	<b>-25,256</b>	

## 2024年度連盟費予算内訳

2023年11月時会員数

会名	会員数	一律分担金	比例分担金	連盟費合計	事務所使用料	請求合計
でんでん虫倶楽部	9	4,000	41,040	45,040	18,900	63,940
小松ブルーベル山の会	79	4,000	360,240	364,240	0	364,240
チャムラン山の会	35	4,000	159,600	163,600	73,500	237,100
めっこ山岳会	25	4,000	114,000	118,000	52,500	170,500
白山フウロ山岳会	16	4,000	72,960	76,960	0	76,960
金沢ハイキングクラブ	103	4,000	467,880	471,880	0	471,880
<b>計</b>	<b>267</b>	<b>24,000</b>	<b>1,215,720</b>	<b>1,239,720</b>	<b>144,900</b>	<b>1,384,620</b>

## 2024年度専門部活動予算

専門部	細目	2024年度予算	2023年度決算	2023年度予算
組織活動統括部	労山まつり企画補助	10,000	9,900	10,000
	北信越交流登山関連	10,000	0	10,000
	会間交流関連	10,000	0	20,000
	登山道整備参加者助成(※ちぶりの仲間会計に)	0	0	150,000
	登山道整備備品購入(※ちぶりの仲間会計に)	0	0	30,000
	県連ホームページ・プロバイダー(※事務局費に)	0	29,877	30,000
	広報関係チラシ作成	20,000	70,000	20,000
	その他、組織活動統括部関連	10,000	0	5,000
	<b>小計</b>	<b>60,000</b>	<b>109,777</b>	<b>275,000</b>
教育遭対統括部	ステップアップ登山講習会等	100,000	100,926	100,000
	ペルクバハト特別会計へ	70,000	36,400	70,000
	北陸雪崩講習会負担金	40,000	40,000	40,000
	事故対処講習会	10,000	0	10,000
	北陸地区登山技術講習会	10,000	0	10,000
	その他、教育遭対統括部関連	10,000	5,000	5,000
	<b>小計</b>	<b>240,000</b>	<b>182,326</b>	<b>235,000</b>
	<b>合計</b>	<b>300,000</b>	<b>292,103</b>	<b>510,000</b>

## 2024年度派遣費予算

科目	細目	2024年度予算	2023年度決算	2023年度予算
会議派遣費	全国総会日当・宿泊費1名分	10,000	0	10,000
	全国山岳遭難対策協議会	10,000	0	10,000
	<b>合計</b>	<b>20,000</b>	<b>0</b>	<b>20,000</b>
講習会派遣費	女性と登山全国集会・全国雪崩講習会等補助	20,000	14,000	20,000
	<b>合計</b>	<b>20,000</b>	<b>14,000</b>	<b>20,000</b>

## 第5号議案 2024年度役員選出の件

2024年度 石川県勤労者山岳連盟役員候補者名簿					
役員区分	所属会・定員	氏名	再・新	担当役職名(案)	備考
理事 14名	金沢ハイキングクラブ 推薦 4	杉本 猛	再		
		武藤 清秀	再		
		山内 隆	再	理事長	
		守護 裕計	新		
	小松ブルーベル山の会 推薦 3	川端 真理子	新		
		松村 勢紀乃	新		
		居村 剛士	新		
	チャムラン山の会 推薦 3	北市 正	再	会計	
		喜多 紀代巳	再		
		朴木 孝之	新		
	でんでん虫倶楽部 推薦 1	坂田 孝雄	再	会長	
	白山フウロ山岳会 推薦 2	安藤 雅徳	再	副会長(教育遭対統括)	
		河崎 由紀子	再		
	めっこ山岳会 推薦 2	浅瀬 和人	再	副会長(組織統括)	
選任中					
監事 2名	小松ブルーベル山の会	寺西 和重			
	チャムラン山の会	菊 正美			

※ 規約に基づき、理事会が定めた定員内ですので、信任投票となります。

※ 監事は4役(3役)を選出していない会からの選出となります。

## 石川県勤労者山岳連盟 補足資料

### － 目 次 －

#### <ルール>

- ・57回定期総会で議決された「役員選考ルール」
- ・石川県勤労者山岳連盟 定期総会議長選出ルール

#### <規約、規定>

- ・石川県勤労者山岳連盟規約(2020/10/14改訂)
- ・石川県勤労者山岳連盟 遭難対策規定(2016/03/06改訂)
- ・石川県勤労者山岳連盟 遭難対策規定(2022/03/06改訂)

#### <補足資料>

- ・事務所複合機(2022年度導入)簡易使用手順書
- ・IWAF共有ドライブ(Googleアカウント)使用手順
- ・「チブリの仲間」活動報告、現地打合せ議事録

【資料】57 回定期総会で議決された「役員選考ルール」

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度
Aブロック	副会長A	副会長A 副会長B	副会長A 副会長B	会長 副理事長	会長 理事長	理事長	副会長A	副会長A 副会長B	副会長B 副会長A	会長 副理事長	会長 理事長	副会長A 副会長B	副会長A
Bブロック	会長 理事長	理事長	副会長A 副会長B	副会長A 副会長B	副会長B 副会長A	副理事長 副会長A	会長 理事長	理事長	副会長A 副会長B	副会長A 副会長B	副会長B 副会長A	会長 副理事長	会長 理事長
Cブロック	副会長B	副理事長	副理事長	副理事長	副会長A	副会長B	副会長B	副理事長	副理事長	副理事長	副会長A	副会長A 副会長B	副会長B

Aブロック：小松ブルーベル山の会・白山フウロ山岳会

Bブロック：チャムラン山の会・めっこ山岳会

Cブロック：金沢ハイキングクラブ・でんでん虫倶楽部

県連三役名簿

※2008年から2011年までは役員選考会で推薦、2012からはルールが確立しブロック内で推薦

	会長	副会長A	副会長B	理事長	副理事長
2024 予定	坂田	安藤	めっこ	山内	—
2023	坂田	安藤	ブルーベル	北市	山内
2022	浅瀬	田中	KHC	北市	—
2021	浅瀬	—	KHC	山崎	北市
2020	山本	安藤	KHC	山崎	—
2019	山本	安藤	こだま	石川	山崎
2018	荒川	浅瀬	こだま	石川	—
2017	荒川	浅瀬	でんでん	山本	石川
2016	浅瀬	山上	でんでん	山本	—
2015	浅瀬	山上	KHC	荒川	山本
2014	長堀	こだま	KHC	荒川	—
2013	長堀	こだま	KHC	坂田	荒川

【資料】役員選考基本ルール

- ①特定のブロックに偏らないようにする。
- ②ブロック内の分担は、所属会で話し合い、決める。
- ③四役が総入れ替えになるようにはしない。概ね、半数ずつ入れ替え。
- ④毎年、人が代わるのを避ける。1回2年は続ける。
- ⑤副会長は2体制。但し、その年度の活動計画により、1名でも可。
- ⑥理事長は、引き継ぎのために、副理事長として1年配置する。
- ⑦監事は、四役を出していない会から選任。

【資料】石川県勤労者山岳連盟 定期総会議長選出ルール

1. 県連総会議長選出実績表

2024年3月 3日 第59回	小松ブルーベル	金沢ハイキングクラブ
2023年3月 5日 第58回	チャムラン	でんでん虫
2022年3月 6日 第57回	白山フウロ	めっこ山岳会
2021年3月 7日 第56回	こだま山岳会	金沢ハイキングクラブ
2020年3月 1日 第55回	新型コロナ禍で中止	
2019年3月 3日 第54回	でんでん虫	小松ブルーベル
2018年3月 4日 第53回	めっこ山岳会	チャムラン
2017年3月 5日 第52回	こだま山岳会	白山フウロ
2016年3月 6日 第51回	小松ブルーベル	金沢ハイキングクラブ
2015年3月 1日 第50回	チャムラン	でんでん虫
2014年2月23日 第49回	白山フウロ	めっこ山岳会
2013年2月23日 第48回	金沢ハイキングクラブ	こだま山岳会
2012年2月26日 第47回	小松ブルーベル	でんでん虫
2011年2月27日 第46回	めっこ山岳会	チャムラン
2010年2月28日 第45回	こだま山岳会	白山フウロ
2009年3月 1日 第44回	金沢ハイキングクラブ	小松ブルーベル
2008年3月 2日 第43回	チャムラン	でんでん虫
2007年3月 4日 第42回	白山フウロ	めっこ山岳会

2. 県連総会議長選出会予定一覧表

	第38回	第39回	第40回	第41回	第42回	第43回	第44回	第45回	第46回	第47回	第48回	第49回
	2003年 3月2日	2004年 3月7日	2005年 3月6日	2006年 3月5日	2007年 3月4日	2008年 3月2日	2009年 3月1日	2010年 2月28日	2011年 2月27日	2012年 2月26日	2013年 2月23日	2014年 2月23日
こだま山岳会	?			◎				◎			◎	
白山フウロ山岳会	◎				◎			◎				◎
めっこ山岳会	?	◎			◎				◎			◎
チャムラン山の会	?	◎				◎			◎			
でんでん虫倶楽部	?		◎			◎				◎		
小松ブルーベル山の会	?		◎				◎			◎		
金沢ハイキングクラブ	?			◎			◎				◎	

	第50回	第51回	第52回	第53回	第54回	第55回	第56回	第57回	第58回	第59回	第60回	第61回	
	2015年 3月1日	2016年 3月6日	2017年 3月5日	2018年 3月4日	2019年 3月3日	2020年 3月1日	2021年 3月7日	2022年 3月6日	2023年 3月5日	2024年 3月3日	2025年	2026年	
こだま山岳会			◎				◎	△	△	△	△	△	
白山フウロ山岳会			◎			新 型 コ ロ ナ 禍 で 中 止		◎			◎		
めっこ山岳会				◎				◎			◎		
チャムラン山の会	◎			◎					◎				◎
でんでん虫倶楽部	◎				◎					◎			◎
小松ブルーベル山の会		◎			◎						◎		
金沢ハイキングクラブ		◎						◎			◎		

# 石川県勤労者山岳連盟規約

## 第1章 総則

(名称・事務所)

第1条 この組織は、「石川県勤労者山岳連盟」(以下、「本連盟」という)と称する。また、略称を石川労山とする。

2. 本連盟の事務所を石川県野々市市横宮町8-5つばき通り百番ビル206号室に置く。

(加盟組織)

第2条 本連盟は、総会の議決に基づき「日本勤労者山岳連盟」(以下、「全国連盟」という)に加盟する。

## 第2章 目的と活動

(目的)

第3条 本連盟の目的は、「石川県勤労者山岳連盟趣意書」に則った諸活動を推進することにより、加盟団体とその構成員の登山と会活動の推進に寄与することにある。

(活動)

第4条 本連盟は、前条の目的を達成するために、次の諸活動を行う。

- (1) 登山思潮の学習交流と登山技術の向上のための活動
- (2) 加盟団体の活動に対する指導と援助及び共同事業の推進
- (3) 未組織の地域・職場・学園での山岳会・ハイキングクラブ等の創立支援と本連盟への加盟促進
- (4) 事故防止に関する研究・対策及び啓発事業の実施
- (5) 県連合同救助隊「石川ベルクバハト」の運営
- (6) 山岳自然環境の保全と登山のための社会的条件整備を求める活動
- (7) 加盟団体とその構成員に対する登山関係の情報の提供、その他出版物の発行と普及
- (8) 県内外の山岳団体、自然保護団体、関係行政との連携・協力
- (9) その他、前条の目的達成に必要な活動

## 第3章 組織

(加盟・脱退)

第5条 趣意書及びこの規約を承認し、連盟加盟費を納入し、所定の加盟手続きを取り、本連盟理事会の承認を受けた団体は、加盟することができる。

2. 加盟団体は、本連盟を自由に脱退することができる。ただし、連盟への債務を精算し、所定の脱退手続きを取り、本連盟理事会の承認を受けた団体は、脱退することができる。

第6条 加盟団体は、6ヶ月間、連盟費を納入しない場合は、本連盟理事会の確認後、加盟団体としての資格を停止する。

2. 加盟団体は、6ヶ月間、連盟費を納入せず、催促するも理由なく滞納する場合、または本規約に重大な違反をした場合は、本連盟理事会の特別議決(出席理事の3分の2以上の発議に基づき、加盟団体の3分の2以上の同意)にて、本連盟から除名することができる。

## 第4章 機関

### 第7条 本連盟に、次の機関を置く

#### (1) 総会

- ① 総会は、本連盟の最高議決機関として、定期総会については年1回、2月最終日曜日又は3月第一日曜日に、理事会の確認を経て、会長が招集する。
- ② 総会は、各加盟団体から選出した代議員で構成され、2分の1以上の出席をもって成立する。なお、出席できない代議員は、その権限を他の代理人に委任することができ、その委任状をもって出席とみなすことができる。但し、各会単位での委任状総数は、各会の代議員定員の過半数未満とする。
- ③ 必要に応じて会長は、臨時総会を招集することができる。また、加盟団体の3分の1以上の要請があった時は、臨時総会を開かなければならない
- ④ 総会の決定は、特に定めるものを除いて、出席者の過半数をもって成立する。
- ⑤ 代議員は加盟団体より、構成員5名毎に1名(端数は切り捨て)選出するものとする。但し、連盟の役員(監事を除く)を代議員に選出することはできない。
- ⑥ 前項の構成員とは連盟費納入人員であり、総会の開催される直近の5月末または11月末現在における基本調査報告による。

#### (2) 理事会

- ① 理事会は、総会に次ぐ議決機関であり、唯一の執行機関として、原則として月1回理事長が招集する。
- ② 理事会は、総会で承認された次の理事で構成する。
  - 1) 別に定める基準により、加盟団体が推薦する者
  - 2) 会長が加盟団体の会員の中から推薦する者
- ③ 理事会は、理事の2分の1以上の出席で成立し、出席理事の過半数の同意により議決する。但し、加盟団体の過半数の同意が得られない場合は、議決結果は保留される。
- ④ 理事は、連盟の業務を分掌する。

#### (3) 事務局

連盟の運営に関する事務を行うため、理事長が総括する事務局を置くことができる。

#### (4) 専門部

- ① 連盟の実務機関として、必要な専門部を置く
- ② 専門部の設置は、毎年度の活動方針の中で定める。但し、理事会の議にて、その変更をおこなうことができる。

#### (5) 事務局・専門部の構成

事務局・専門部は、理事により構成し、その長を各1名、理事会にて選任する、但し、理事長は、必要に応じて理事以外の事務局員・部員を任命することができる。

#### (6) 委員会

必要に応じて実行委員会及び諮問委員会を置く。なお、委員長には理事を、委員は理事長 任命する。

#### (7) 山岳救助隊「石川ベルクバハト」

会長の指導のもとに、各会選抜会員による県連合同山岳救助隊「石川ベルクバハト」を設置する。詳細については、県連遭難対策規定にて定める。

(役員)

第8条 本連盟に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
  - (2) 副会長 若干名を置くことができる。
  - (3) 理事長 1名
  - (4) 副理事長 若干名を置くことができる。
  - (5) 理事 20名以内
  - (6) 監事 2名
2. 役員(理事・監事)は定期総会において選出し、役員の任期は次の定期総会までとし、再選を妨げない。また、役員の補充は理事会で決定し、補充役員の任期は前任者の残り期間とする。なお、総会までに理事を推薦できなかった加盟団体は、この補充規定を準用して、補充員数を充足する。
3. 理事は、理事の中から、会長・副会長・理事長・副理事長を互選する。

(役員選考)

第8条の2 本連盟に、役員選考委員会を置く

2. 役員選考委員会は、会長・理事長と各会代表者各1名で構成する。
3. 役員選考委員会は、毎年、通常総会前の適宜な時期に開催し、理事会の諮問に応じて、次のことを決定する。
  - (1) 次年度県連理事会の必要とする理事の総定員
  - (2) 各加盟団体から推薦する理事候補の員数及び候補者
  - (3) 全体枠で理事会が推薦する理事候補の推薦
  - (4) 会長以下の次期役員を選考
4. 各加盟団体は、その所属する会員数に応じて、次の基準で理事候補を推薦する。
  - (1) 会員数15名未満の加盟団体からは1名以上
  - (2) 15名以上30名未満の加盟団体からは2名以上
  - (3) 30名以上の加盟団体からは3名以上

(顧問)

第8条の3 理事会の議により、加盟団体構成員の中から、顧問を委嘱し、本連盟の活動への助言・支援を受けることができる。

第5章 財政

第9条 本連盟の財政は、加盟費、連盟費その他の収入でまかなう。

(会計年度)

第10条 本連盟の会計年度は、毎年2月1日から翌年1月末日までとし、会計報告は定期総会の都度行い、総会の承認を受ける。

(特別会計)

第10条の2 本連盟の会計には一般会計の他、次の特別会計を設ける。

(1) 県連遭難対策特別会計

- ① この特別会計の設置目的は、次の通りとする。
  - 1) 初動捜索費等の加盟団体への貸付のための遭難時緊急支援基金への拠出
  - 2) 救助隊特別会計で賄えない装備費用及びその他必要な費用を支出
- ② この特別会計の原資は、以下のもとする。
  - 1) 過年度決算の余剰金からの積立金

2) 本特別会計で不足する場合に限って、一般会計又は他の特別会計からの繰り入れ

3) 全国連盟第一種基金からの借入金

4) 全国連盟の遭対基金加入促進還元金

5) 寄付金等その他の収入

③ 遭難時緊急支援基金の詳細(貸付規定等の整備を含む)は、別途定める。

(2) 財政調整特別会計

① 一般会計・他の特別会計の収支不足、事業活動資金の一時的な充当、一般会計の運転資金需要等に支出する。

② 財政調整特別会計への繰り入れは、毎年度単年度決算の余剰金から繰り入れ

(3) 特別支出準備特別会計

① 記念事業の準備資金(積み増しが必要になった場合は一般会計から繰り入れ)

② 多額の臨時支出への準備金

(4) 救助隊特別会計

① 救助隊ベルクバハトの日常の活動費用として、理事会の決定した額を、年度当初に渡し切りで交付する。

② 余剰金は、次年度繰越金として救助隊特別会計に計上する

③ 救助隊特別会計で賄えない臨時的な多額の支出は、県連遭難対策特別会計による。

(加盟費・連盟費)

第11条 本連盟の加盟費は加盟団体毎に 1,000 円とし、連盟費は団体毎に年間一律分担金は 1 団体 4,000 円、比例分担金は構成員 1 人 1 ヶ月 380 円(全国連盟分 130 円、県連分 250 円)とする。但し、100 名を超える加盟団体については、100 人超えの部分は 1 人 1 ヶ月 330 円(全国連盟分 130 円、県連分 200 円)とする。

2. 総会に付議することが困難である場合は、前項の連盟費を引き下げの場合、及び全国連盟分の変更を行う場合に限って、理事会の特別決議(理事の3分の2以上の同意)により、改訂することができる。

3. 負担方法は年2回とし、第一回目は4月末日、2回目は10月末日とする。比例分担金の基礎人数は次の通りとし、各期日に各々6ヶ月分を負担する、なお、分担金は総会前年11月末の基本調査報告人数にて決定する。

(1) 比例分担金のうち全国連盟の個人加盟金に相当する部分

---総会の前年11月末の基本調査報告人数

(2) 比例分担金のうち全国連盟の個人加盟費を除いた部分

----第一回目(4月末)総会前年の11月末の基本調査報告人数

----第二回目(10月末)5月末人数

## 第6章 遭 難 対 策

第12条 本連盟の事故対策は、別に定める「石川県勤労者山岳連盟遭難対策規程」に基づいて行う

第13条 納入された加盟費、連盟費は今連盟を脱退しても返還しない

第14条 理事会は、この規約に定められていない問題については、趣意書、規約の精神に基づいて処理する事ができる

第15条 この規約の改廃は、総会出席者の3分の2以上の決議によらなければならない。

第16条 この規約は1971年5月16日より実施する。

[附 則]

1. 改正 1972年5月21日 1975年6月2日 1976年3月7日 1977年3月3日  
1985年3月10日 1994年3月6日 1996年3月6日 1998年3月1日  
2000年3月5日 -----第7条(機関)、第8条(役員)  
2002年7月7日 -----第1条(名称・事務所、第2条(加盟組織)、第3条(目的)  
臨時総会 第4条(活動)、第7条(機関)、第8条の2(役員選考)  
第10条の2(特別会計)、第11条(加盟費・連盟費)  
2012年2月26日 -----第1条(名称・事務所)、第7条(総会)、第8条(役員)  
第8条の2(役員選考)、第8条の3(顧問)  
第10条の2(特別会計)  
2016年3月6日 ---- 第1条の2(名称・事務所)  
第10条の2(4)の②救助隊特別会計(余剰金)  
(2020年3月1日の総会は新型コロナ禍で中止・代替として書面決議とした)  
2020年10月14日 ---- 第8条の4(3)(理事候補推薦数)  
第8条の4(4)(削除)

以上

# 石川県勤労者山岳連盟 遭難対策規定

(2022/3/6 改定)

## 第1章 総則

第1条 この規定は、遭難対策について必要な事項を定め、遭難を防止し、安全登山の普及と向上、遭難者の救助を目的として、山行規定、救助隊規定を定める。

第2条 目的達成のため、次の活動を行う

- (1) 遭難防止の為の教育活動
- (2) 遭難者の救助活動、搬出活動
- (3) 救助及び搬出の技術普及と向上の為の訓練と研究活動
- (4) 山行計画書の検討と、必要な勧告・指導活動
- (5) その他必要な活動

## 第2章 山行規定

第3条 石川県勤労者山岳連盟の加盟山岳会の会員は、山行(スキーツアーを含む)を行うときは、所属会に計画書を提出しなければならない。

第4条 前項の計画書は、所属会の定めに従って提出し、所属会の留守宅本部、自宅にも提出するものとする。また、登山届を関係部門に提出する。

第5条 各会の合宿、海外登山等の大きな山行については、あらかじめ救助隊(救助隊監督)に計画書を提出するものとする。

第6条 提出された計画書が次の事項を満たしていない場合は、計画について、各会の責任で勧告・指導を行なう。ただし、春・夏・冬の一定時期の合宿山行については、県連合宿検討会として指導・助言をも行う。

第7条 提出された計画書が次の事項を満たしていない場合は、計画書について勧告・指導を行う。

- (1) 会山行、個人山行の区別
- (2) 団体名
- (3) 山行責任者(リーダー)
- (4) 日程
- (5) 目的山域とルート
- (6) メンバー(任務・氏名・年齢・血液型・住所・電話番号・緊急連絡先・労山新特別基金または山岳保険の加入有無と加入内容)
- (7) 留守宅本部
- (8) 装備リスト
- (9) 食料リストと予備食の有無
- (10) 無線機の有無と種類及び周波数(アマチュア無線の場合はコールサイン追加)及び携帯電話の番号

第8条 計画に変更がある場合は、改めて計画書を提出しなければならない。

第9条 下山後はすみやかに留守宅本部に連絡しなければならない。

第10条 山行責任者(リーダー)は、会及び救助隊リーダー会より計画について勧告・指導を受けた場合、これを尊重しなければならない。

第11条 留守宅本部は、会員の遭難事故報告を受けた場合、すみやかに救助隊及び所属会に報告しなければならない。又、下山予定を半日以上過ぎても下山報告がなく遭難の可能性が考えられる場合も同じとする。

## 第3章 救助隊規定

第12条 石川県勤労者山岳連盟に救助隊をもうけ、事務所を県連事務所内に置く

第13条 石川県勤労者山岳連盟山岳救助隊を「石川ベルクバハト」と呼ぶ

第14条 救助隊は、次の役員及びメンバーで構成する・

- (1) 監督 1名
- (2) 隊長 1名
- (3) 副隊長 1名
- (4) 隊員 若干名
- (5) 事務局員

第15条 救助隊にリーダー会を置く。リーダー会は監督、隊長、副隊長、及び隊員の中から隊長に氏名された者若干名で構成され、救助隊の活動全般について決定する。

第16条 救助隊の役員及び隊員の選任は、次の通りとする

- (1) 監督は、県連会長又は県連副会長があたる。(副会長を追記)
- (2) 隊長・副隊長は、県連総会後のできる限り早い県連理事会で任命する。
- (3) 隊員は、所属山岳会の推薦を受けた人で構成する。

第17条 隊員は、次のような権利と義務を有する。

- (1) 県連盟の主催する行事に優先される。
- (2) 年2回救助訓練(無積雪期、積雪期)を行う。隊員は、可能な限り参加しなければならない。
- (3) 隊員は、最低でも5口以上の労山新特別基金に加入、もしくはそれと同等以上の山岳保険に加入するものとする。また、特に危険の予想される出動に際しては、隊員の労山特別基金の増額、ないし他の保険への加入を必ず行うものとする。この祭の費用の負担は、県連が行う。
- (4) 救助活動、遭難防止活動の積極的推進を行なう
- (5) 個人的に救助活動を行なう場合にも、原則として隊長の許可を受ける。
- (6) 登山中、個人的に救助活動を行なった場合は、下山後すみやかに報告するものとする。

第18条 救助隊は、原則として、下記の場合。監督又は隊長の要請に基づいて出動する。

- (1) 連盟員の遭難が確認された場合
- (2) 各代表者又は家族の要請があった場合
- (3) その他、リーダー会は必要と認めた場合
- (4) 県連会員以外の遭難について、救助の要望があった場合、県連会長の判断によって、救助活動への参加ができる。ただし、事後の県連理事会の承認を必要とする。

第19条 隊員は、出動要請があった場合、すみやかに出動の可否を明らかにし、救助隊本部と連絡をとって行動しなければならない。

第20条 救助隊長は、救助活動における責任者として現地で指揮をとる。

第21条 救助要請発生し監督や隊長と連絡が取れない場合は、行動可能な隊員でその間代行する。

第22条 出動に際しては留守宅本部の指導者は、リーダー会が任命する。

## 第4章 財政

第23条 救助隊の教育・訓練・救助装備の経費は、県連盟の財政から支出する。

第24条 救助隊が出動した祭の必要経費(交通費・宿泊費・食費・機材費の他・出動の際加入する山岳遭難対策保険料等、17条3号に定める負担を含む)は、すべて依頼者(会、または家族)及び遭難者が支払うものとする。

第25条 特に高額費用を要する捜索・救助(航空機の使用等)については、依頼者(家族)と相談

のうえ決定する。

第5章 附 則

第 26 条 救助隊の監督・隊長には、訓練・救助活動を行なうに当たって必要なものは、理事会の承認により、適宜支給または貸与する。但し、緊急の場合は、会長の判断、理事会の事後承認により、支給・貸与できる。

第 27 条 救助隊の監督・隊員の救助活動に伴う保険適用など、安全確保・補償問題については、県連理事会は必要な対策を適宜定める。

第 28 条 この規定の改廃は、県連理事会が行う。

第 29 条 この規定は、1976 年 11 月 28 日より実施する。

[附 則]

- |       |                 |        |   |
|-------|-----------------|--------|---|
| 1. 改正 | 1985 年 6 月 12 日 | 改正     |   |
|       | 2002 年 7 月 7 日  | 臨時総会改正 |   |
|       | 2016 年 3 月 6 日  | 改正     | 第 2 章 第 3 条、第 4 条<br>第 7 条 (6) (7)<br>第 11 条<br>第 16 条 (3)<br>第 17 条 (3) (6)<br>第 18 条 (4)<br>第 21 条、第 22 条 |
|       | 2022 年 3 月 6 日  | 改正     | 第 2 章 第 3 条、第 4 条   |

以上

## 県連事務所複合機 brother MFC-J6983CDW (2022 年度導入) 簡易マニュアル

### 印刷方法

#### PC から印刷

1. ドライバーをインストール  
Brother のHPから、[MFC-J6983CDW] 用のプリンタードライバー（フルパッケージ）をインストールする。
2. 印刷する  
PCの[印刷]から、プリンターを「Brother MFC-J6983CDW プリンター」を選択して印刷する。

#### スマホから印刷

1. iPhone から印刷  
[App Store] から [Brother iPrint&Scan] をインストールする。
2. Android から印刷  
[Google Playストア] から [Brother iPrint&Scan] をインストールする。
3. iPhone、Androidが、WI-FI に接続した状態であることを確認する。  
アプリを起動し、[プリント] を押して印刷する。

### スキャナ方法

#### スキャナデータを PC に取り込む

1. PCがWI-FI ネットワークに接続している状態で、複合機本体パネルの[スキャナ]を押す。
2. 複合機にスキャンしたいモノを置く。
3. [スキャンした画像をPCに保存します]を選択。
4. [イメージ]を選択し、[スタート]を押す。

※画像ファイル形式、読み取りサイズを変更したい時は、設定を変更する。

#### スキャナデータをスマホに取り込む

1. iPhone、Androidが、WI-FI に接続した状態であることを確認する。
2. 複合機にスキャンしたいモノを置く。
3. アプリを起動し、[スキャン]を押してスキャンする。

※画像ファイル形式、読み取りサイズを変更したい時は、設定を変更する。

## IWAF 共有ドライブ (Google ドライブ) 使用手順書



- ① 県連HP トップページ右上「リンク」にカーソルを合わせてプルダウンを表示させる
- ② IWAF のプルダウンをクリック
- ③ パスワード [174kenren#] を入力
- ④ Google ドライブが開くので年度毎のフォルダに保管してあるデータを閲覧可能

## チブリ登山道維持管理業務に掛かる管理者と実施者の実地レベル合わせ議事録

目的：作業レベルの定義が不明瞭な登山道維持管理業務に関して、管理者と作業員間で現地レベル合わせを実施する

日時：2023年9月11日（月）

場所：チブリ登山道 猿壁登山口～チブリ尾根避難小屋

参加者：染谷 環境省白山自然保護官

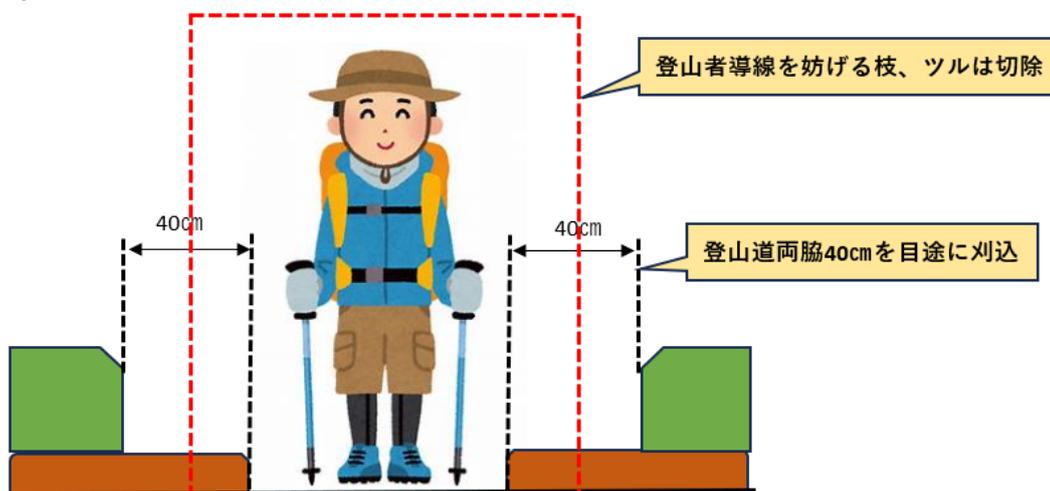
村中 石川県白山自然保護センター次長

北原 石川県白山自然保護センター主任技師

北市 石川県勤労者山岳連盟理事長、チブリの仲間委員長

喜多 石川県勤労者山岳連盟理事、石川県白山自然解説員、パークボランティア

### ①下草刈込



- ・上記を基本方針とする
- ・ササ、灌木は登山道両脇40cmを目途刈込は必須、刈込後にイネ科が繁茂するのはやむを得ない
- ・稜線のお花畑は登山道脇を早い段階で刈込
- ・下部のニリンソウ、サンカヨウが登山道脇に多い箇所は今後もより良い方法を模索する

### ②登山道整備

- ・全般に、近自然工法の趣旨に合致しており問題なし
- ・作業した内容に関して都度、石川県白山自然保護センター担当者へ連絡する事
- ・実施方法に関して相談がある場合も自然保護センター担当者へ都度相談する事
- ・ぬかるみ箇所の補修では環境配慮素材の土嚢の活用も検討する事
- ・水路導線確保の作業では多少の水路河床の掘り下げは許容できる
- ・下の水場のロープは撤去して導線を明確にする様に石を並べる工夫をする事

### ③上空かかり木の箇所

- ・下の水場手前のかかり木は危険なので注意喚起の看板を付ける
- ・新規建造ではなく、立木への取付けと登山道口のマット看板へ取り付けで実施する（9/23実施済）



### ④避難小屋

- ・避難小屋外装は南側（別山谷側）が薄くなっているのを、来年度にこの面のみの塗装を実施する



※5/13撮影

- ・便槽は2年持たないので、次年度より毎年交換する
- ・道標の看板は今年度交換
- ・利用者把握の方法を行政側が検討する

### ⑤その他

- ・昭文社の「山と高原地図」は毎年最新に更新しており、1月頃に聞き取りがあるので変更点あれば伝えます
  - ◎上の水場は温水期は使えない
  - ◎避難小屋手前の池は煮沸飲料可となっていますが、とても飲める水ではない

MEMO\_1

## 石川県勤労者山岳連盟(IWAF)

〒921-8817 石川県野々市市横宮町 8-5 つばき通り百番ビル 206 号室

[アドレス info@iwaf.jp](mailto:info@iwaf.jp)

<http://iwaf.jp>